

加藤孝造 追悼展

多彩な技法にチャレンジした人間国宝
岐阜県セラミックス研究所収蔵品特別展示

1965年 志野六角削花瓶



1965年「鶉飼」



1957年頃「猛虎」



～故加藤孝造氏の岐阜県陶磁器試験場（現 岐阜県セラミックス研究所）との関わり～

- 1951年 岐阜県陶磁器試験場に勤務
- 1953年 五代加藤幸兵衛氏（当時場長）に師事
- 1957年 昭和天皇皇后両陛下、皇太子殿下来場（染付「浅間山」陶板を製作し献上）
- 1957年頃 プロパン瓦斯窯にて陶彫「猛虎」を製作、第4代県庁舎と当所に設置
- 1965年 天皇皇后両陛下来場（染付「鶉飼」陶板を製作し献上）
志野陶壁「さきがけ」を製作、第4代県庁舎に設置
- 1968年 美濃焼製品の普及、イメージ向上のため「美濃焼展」を東京の百貨店にて開催
- 1970年 岐阜県陶磁器試験場を退職

去る4月17日早朝、病氣治療中であつた当研究所出身の加藤孝造氏が88歳で死去されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。このたびの訃報を受け、当研究所では故加藤孝造氏の気さくで飾り気のないお人柄を偲んで、2021年に開催した「加藤孝造展」の見本試作品に、新たに未展示だつた試作品を加え、「追悼展」として開催します。当研究所は、1911年創立以来、美濃焼業界に対して数多くの見本試作を行ってきました。職員だつた加藤孝造氏は1951年より18年間在籍し、多彩な技法を用いた見本試作をしています。是非、ご観覧ください。

岐阜県セラミックス研究所 所長 松原弘一

展示日時 令和5年7月31日（月）～8月31日（木）（土曜日、日曜日、祝日を除く）
9：00～16：00（入場は15：45まで）

展示場所 岐阜県セラミックス研究所 展示室

内 容 人間国宝である故加藤孝造氏の見本試作品64点を展示 入場無料

問 合 先 岐阜県セラミックス研究所 担当：小稲、岩田靖 電話：0572-22-5381 info@ceram.rd.pref.gifu.jp